



アジア低炭素化センター(アジアグリーンキャンプ) 説明資料



アジア低炭素化センター 技術移転マネジャー飯塚 誠

アジア低炭素化センター設立背景

北九州市の環境政策の歴史

■第1期(～1980)

公害の顕在化とその克服の時代(婦人会、産学官民)

■第2期(1980～)

国際協力の時代(KITA、二つのサミット参加、国際表彰)

■第3期(1990前半～)

循環型社会対応の時代(エコタウン、PCB処理、ごみ有料化、分別強化)

■第4期(2005～)

サステナビリティ・低炭素社会対応の時代
(環境首都、市民協働、環境モデル都市)

公害克服～北九州市の経験～

小学校も廃校になる程の日本最悪の大気汚染や、大腸菌も死滅し船のスクリューも溶けた「死の海・洞海湾」など激甚な公害は、人々の努力で克服され、今では青空と美しい海を取り戻した。OECD環境レポートでは「灰色の街から緑の街へ」。



日本最悪の大気汚染、小学校も廃校に



青空を楽しむ市民



「死の海・洞海湾」
スクリューも溶け、大腸菌も棲めない



回復した青空と海、環境を楽しむ人々



洞海湾遠泳

環境国際協力

～世界の持続可能な社会づくりへの貢献

研修員受入：133国 5,366人 専門家派遣：200人以上
アジアの都市間協力ネットワーク、環境プロジェクトの促進



(財)北九州国際技術協力協会(KITA)



国連ESCAP環境と開発に関する閣僚会議2000



環境国際協力を通じた環境改善



大気汚染(1994年)



現在

大連市・環境改善

大連市は2001年に国連環境計画からグローバル500を受賞



プノンペン・水道事業 無収水量率が改善

72%(1993年)→8%(2006年)



生ごみ埋め立てによる
環境汚染(当時)



堆肥化された生ごみ



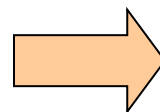
コミュニティで指導する
北九州市の技術者

スラバヤ市(インドネシア)・生ゴミ堆肥化
2万世帯以上に普及。環境改善と資源化

地域資源（国際都市間ネットワーク）

北九州イニシアティブネットワーク

アジア太平洋地域18か国62都市



同ネットワークの再編を図り、低炭素社会づくりのアジア地域への移転を中心とする「アジア環境都市機構」を創設する。

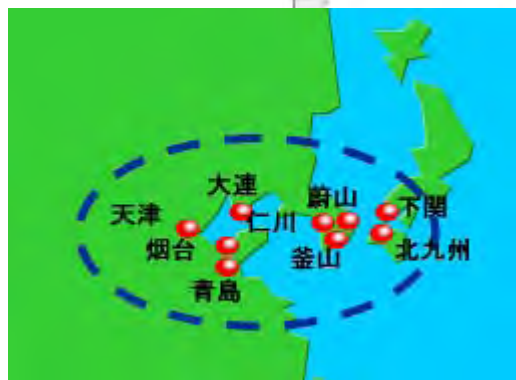
アジア環境都市機構の創設

各国に1～2都市のリーダー都市をつくり、その都市が牽引して周辺都市へ低炭素化を推進するなど、効率的な運営を行う。

東アジア経済交流推進機構 環境部会

日中韓の10都市ネットワーク

広域的な環境問題（海洋ごみ、光化学オキシダント等）の解決に向けての協力や、環境ビジネスを促進するための実践的ネットワーク



アジア低炭素化センターの背景

北九州市基本構想・基本計画

まちづくりの目標

人と文化を育み、
世界につながる、環境と技術のまち

都市ブランドの構築

世界の環境首都

国際的に高い評価を受けている環境の取組みをさらに発展させ、世界の人々から「世界の環境首都」と認められるまちをつくります。

アジアの技術首都

研究開発機能の強化による既存産業の高度化と新たな成長産業の集積を促進し、「アジアの技術首都」をめざします。

環境モデル都市

2008年7月認定

ストック型社会の理念に基づく
低炭素社会づくり

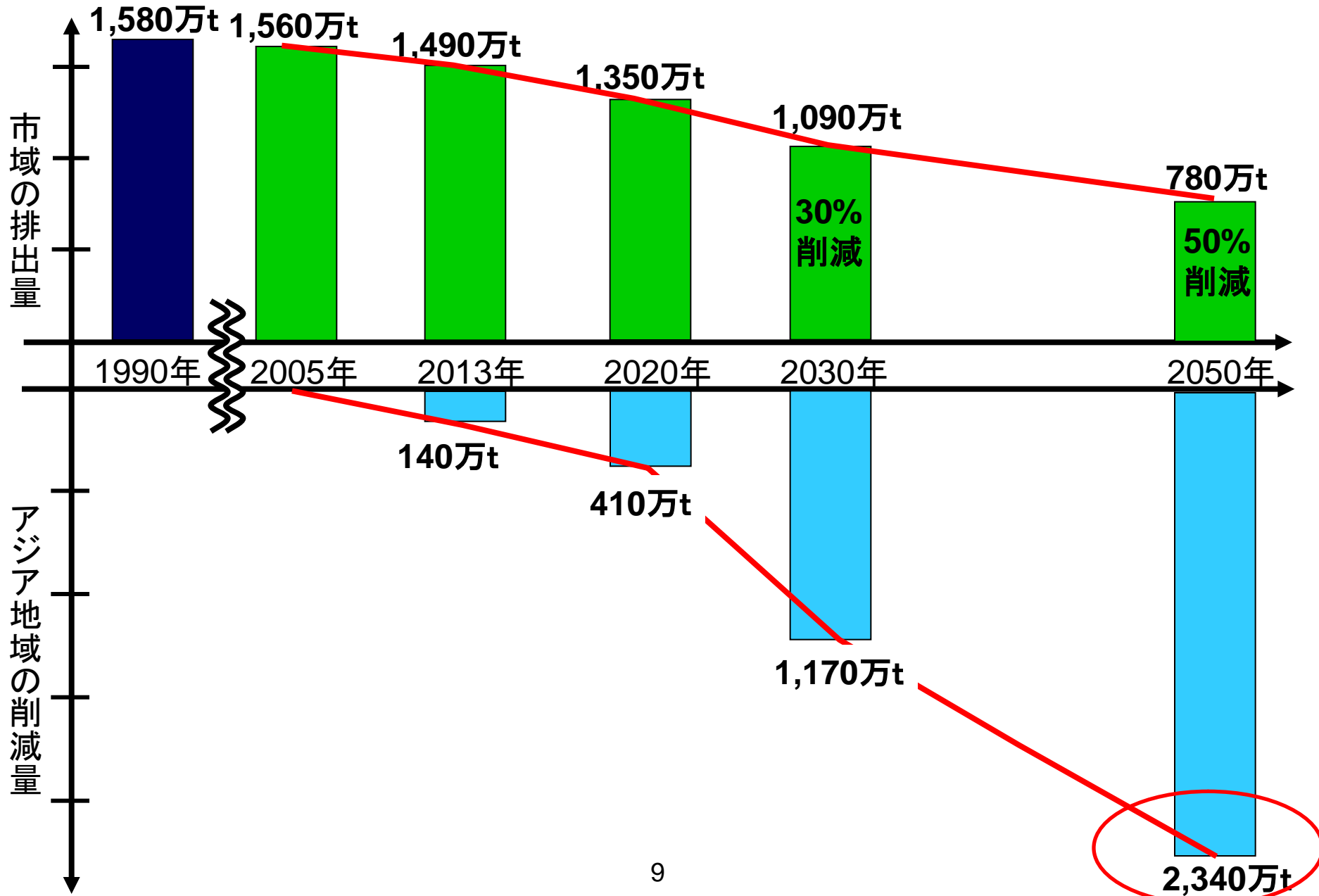
CO₂削減目標(2050年)

市域で50%

アジア地域で150%相当

環境と経済の両立

北九州市の温室効果ガス削減目標



アジア低炭素化センター (アジア・グリーンキャンパス) 概要

センターの位置づけ

アジア低炭素化センターとは

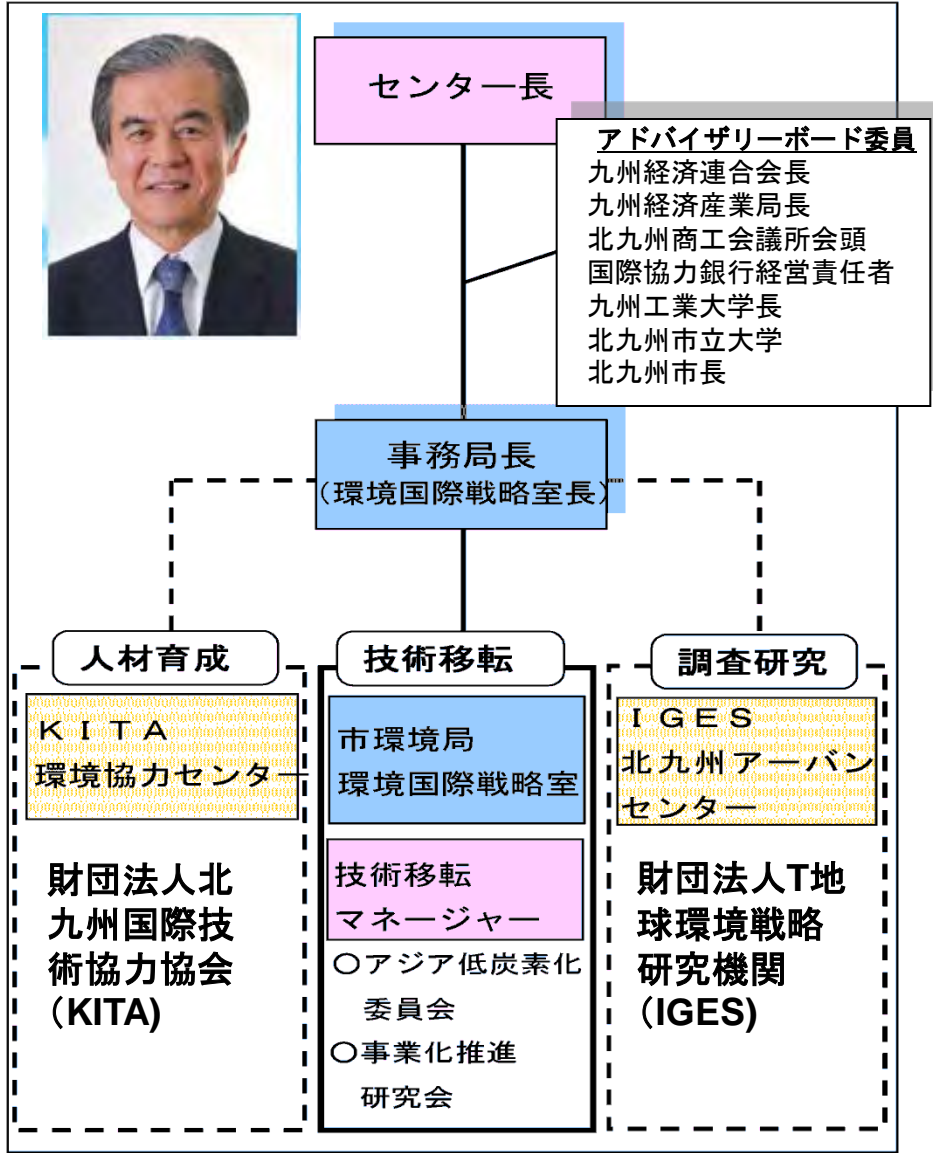
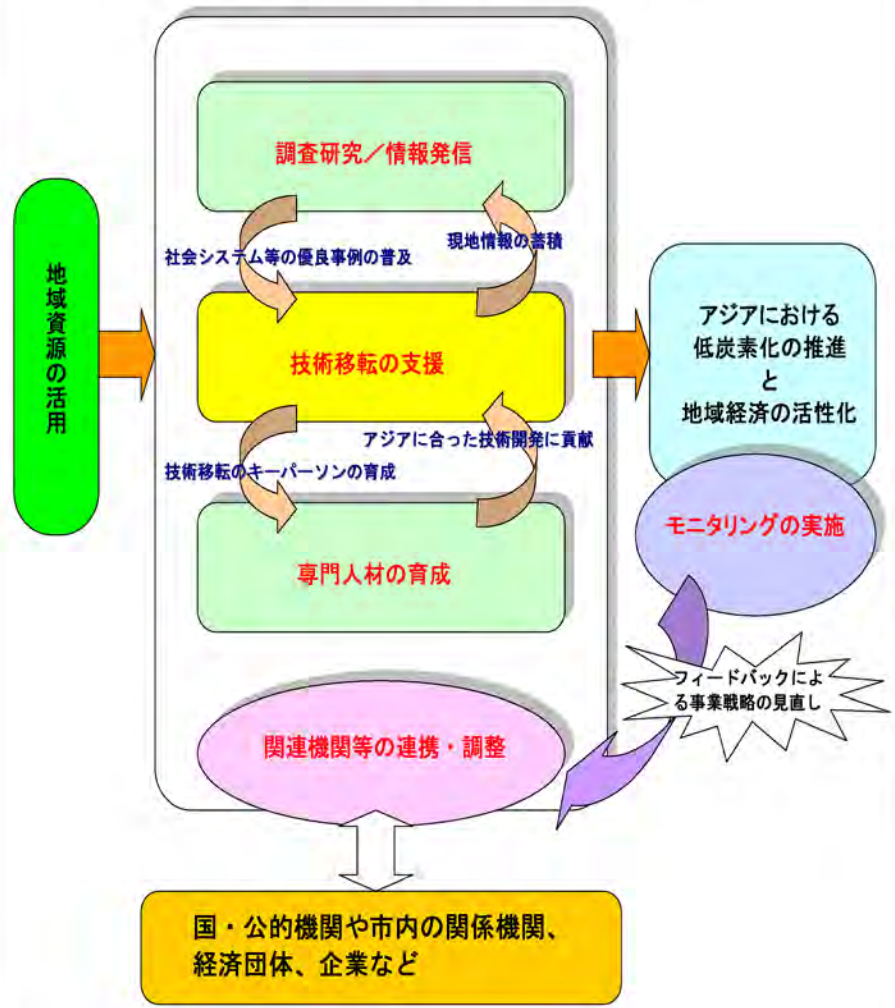
環境モデル都市・北九州市のリーディング・プロジェクトの一つ

北九州市、九州、日本の環境技術を集約し、環境ビジネスの手法でアジアの低炭素化を推進するとともに、アジアスタンダードの創出を目指す



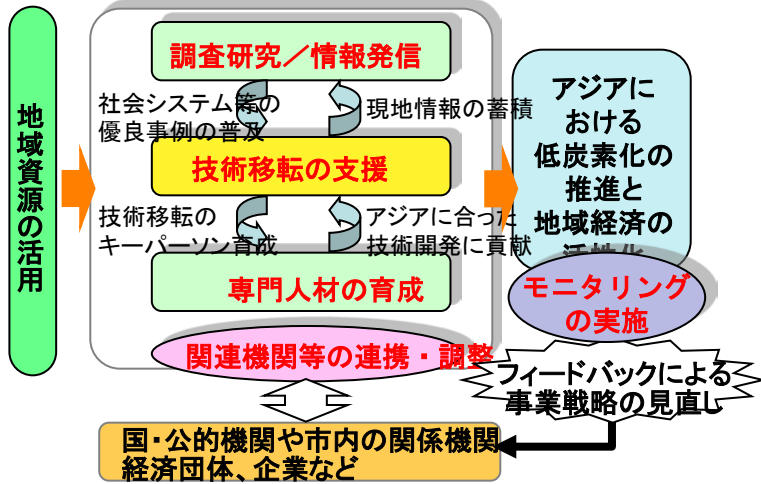
アジア低炭素化センター(アジア・グリーンキャンプ)の機能と組織

アジア低炭素化センターにおける各機能の連関



アジア低炭素化センターの取組概要

アジア低炭素化センターにおける各機能の連関



こんな役割と機能を担います！

- ①企業のビジネスに結びつくようなアジアへの技術移転の支援、新しいビジネスモデル創造や新技術開発の条件整備
- ②実践的な低炭素技術に関する専門人材育成や技術移転のキーパーソンづくり、対象地域との双方向研修
- ③アジア諸都市の環境対策等に関する調査研究、国・公的機関の支援メニュー情報の提供、社会技術移転のための情報発信
- ④センター事業展開によるアジア地域低炭素化のモニタリングおよび、その結果のフィードバック

企業に対しこんなサポートを行います！

- 必要に応じた**技術等のパッケージ化**など企業間の連携を進め、海外での**販売促進**を支援
- 大学等研究機関や産学連携機関への紹介を通じた**現地ニーズ対応型技術等改良支援**
- 技術や製品のアジア移転に関する**市場性調査支援**
- ネットワークのある都市の行政機関を通じた**実証実験の場所の斡旋**
- 国・公的機関への**補助金申請**についてのアドバイス
- 国際協力銀行の協力による**海外環境ビジネス情報の提供**および地域金融機関との連携による**海外事業展開への資金面での支援**
- 海外事務所(中国大連市・上海市)による**行政への橋渡し**や**パートナー企業探し**等の支援
- ビジネスミッションの派遣によるニーズ把握やビジネスマッチング
- 企業間連携を図るための市内企業を中心とした**低炭素化技術のデータベース**づくり

オール・ジャパンとしての活動

「センター」が中心となり、必要に応じて市内企業と市外企業のコンソーシアムを組むことによって、効果的技術移転を行う

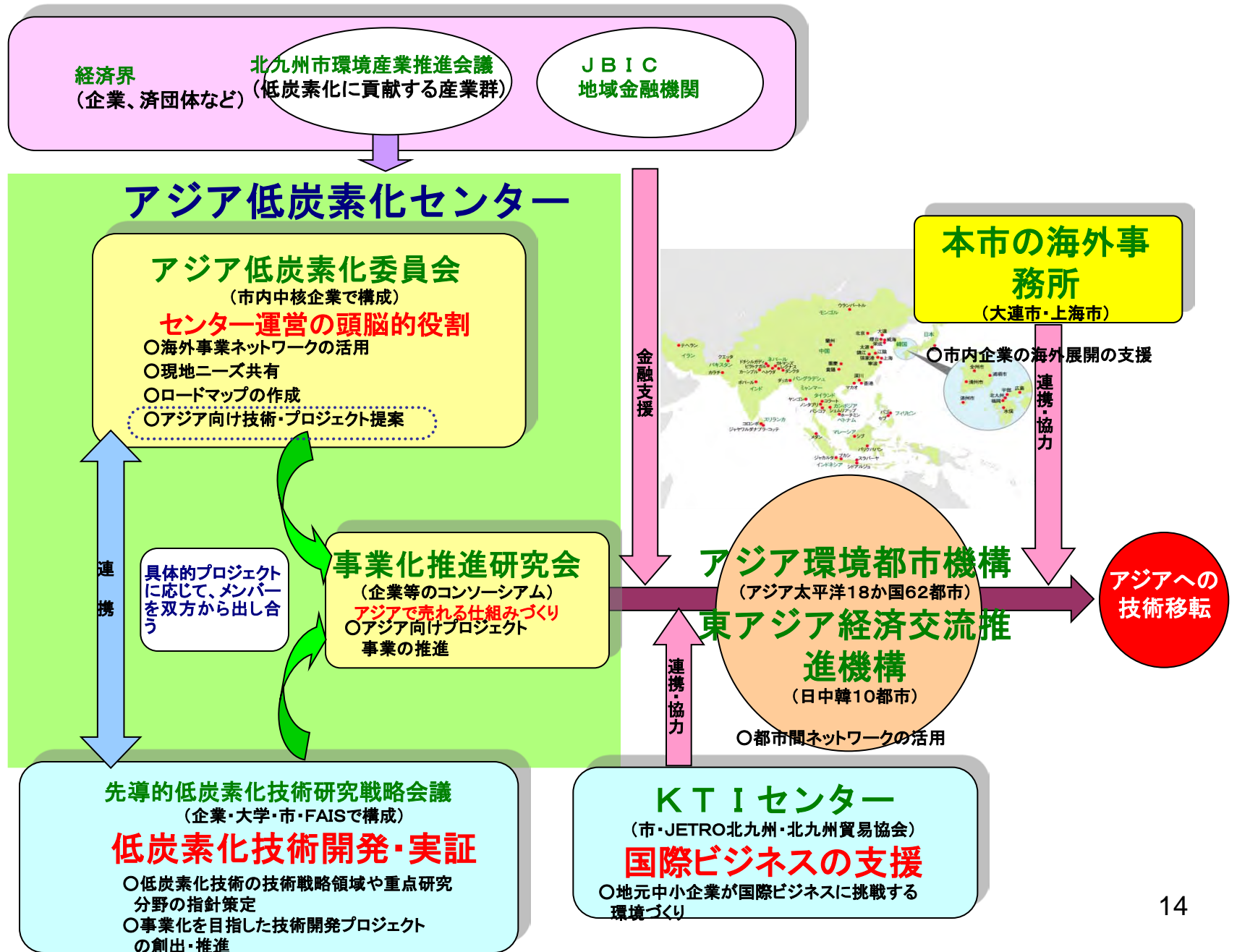
こんな方向で技術移転を行います！

- ①対象地域や相手企業の開発段階、生産設備に合わせた技術導入。
- ②相手側のニーズを見極めた技術のパッケージ化やサービスを加えた移転などによる高付加価値づくり
- ③環境技術と併せた法・社会制度整備、まちづくり、市民意識改革などの社会技術移転
- ④将来を見定めた新しいビジネスモデルの創造、そのための調査研究

アジア・スタンダード技術の確立

技術移転・交流を通じた伝統的技術と先端技術の融合

「アジア低炭素化センター」を中核に環境ビジネスのアジア展開で稼ぐ仕組み



アジア諸都市

CO₂削減と同時に、汚染の緩和や生活の質の向上

WIN-WINの
関係の構築

北九州市

市内企業を中心に、海外での環境ビジネス展開により地域の活性化



パッケージ化の事例2



リサイクルビジネス

RECYCLE

●北九州エコタウン事業



経済効果 (25事業)

- ・直接投資額 約600億円
- ・雇用創出 約1300人

CO₂削減効果
年間約20万トン



OA機器リサイクル



家電リサイクル



自動車リサイクル

●日中循環型都市協力事業(エコタウン協力)に結実

- ・青島市:
(2007~2008年度)
- ・天津市:
(2008~2009年度)
- ・大連市:
(2009~2010年度)



天津市とのエコタウン協力覚書交換(首脳官邸にて)



環境負荷低減ビジネス

CLEANER PRODUCTION

●クリーナープロダクションと終末処理



●原・燃料

有害物を含む原材料の使用中止、燃料の転換による省エネルギー、リサイクル材料の使用。

●生産工程

省エネルギー設備の導入、熱効率の高い設備の導入、洗浄・点検が容易な設備の導入。

●再利用

廃熱の利用、冷却水などのリサイクル、廃棄物やくずのリサイクル、廃棄物を利用した副産物の生成。

- 排煙脱硝装置
- 電気集じん機
- 排水処理施設

●作業管理

漏れ・損失・汚染を最小限にする管理点検、流れや効率の良い機器・レイアウト・配管、空調温度の見直し、無駄のない在庫管理。

●輸送

積み替え回数の低減、梱包の簡素化、積み便の有効利用。

クリーナープロダクション (CP)
高い生産効率・低い環境負荷

終末処理 (EOP)

北九州市とUNIDO（国際連合工業開発機関）とのMOU締結式

【1. 覚書の締結】



開発途上国における
低炭素社会実現のための相互協力



日 時 : 2010年6月14日(月)

場 所 : 北九州市本庁舎 プレゼンルーム

UNIDO : カンデ・ユムケラー事務局長

北九州市 : 北橋健治市長

【2. 覚書の概要】

◆ アジアを中心とする開発途上国における低炭素社会の実現に向けての相互協力

① 廃棄物産業振興のための「エコタウン」構想の啓蒙

② 環境技術や廃棄物リサイクルサービスに関する教育訓練(人材育成)

iizuka@kita.or.jp

皆様の来訪や問い合わせ
歓迎！！

<http://www.asiangreencamp.net/>